

**平成 30 年度 滋賀県コミュニティ・スクール推進事業研修会**  
**(コミュニティ・スクール推進フォーラム兼第 2 回コミュニティ・スクール連絡協議会)**  
**開催報告 概要**

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会制度を導入した学校を指し、学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールの有効的な取組に係る講演や事例発表をとおして、県立学校や市町における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資することを目的として、南部・北部の 2 会場で研修会を開催しました。

■日時 南部会場：平成 30 年 8 月 9 日（木） 13:30～16:45  
北部会場：平成 30 年 8 月 17 日（金） 13:30～16:45

■会場 南部会場：滋賀県庁東館 7 階大会議室  
北部会場：米原市米原公民館 2AB 研修室

■内容

当日は、小中学校・県立学校教職員、地域学校協働活動関係者や学校運営協議会委員、市町の行政関係者、そして地域住民の皆様など、南部会場 94 名、北部会場 107 名、合計 201 名の方に参加をいただきました。

**(1) 事例発表 (13:40～14:10)**

南部会場は、特別支援学校の先進事例として、京都市立西総合支援学校長の富家直樹さんより「特別支援学校における学校運営協議会の取組～こんないいことがありました！～」と題してご発表いただきました。

北部会場は、高等学校の先進事例として、三重県立南伊勢高等学校（度会校舎）准校長の森典英さんより「地域密着型高校の発展を目指して」と題してご発表いただきました。

全国的にも特別支援学校や高等学校へのコミュニティ・スクールの設置は加速しており、特色ある学校づくりと関連づけた取組を聞き、県立学校関係者だけでなく、小中学校の関係者や地域の皆様にとっても有意義な学びの時間となりました。



**(2) 講演 (14:15～15:35)**

両会場とも、文部科学省初等中等教育局視学委員であり、全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問、元三鷹市教育長の貝ノ瀬滋さんより「今、なぜコミュニティ・スクールなのか？」と題してご講演いただきました。

学校運営協議会制度、全国に先駆けて取り組まれた実践、また豊富な経験に基づく的確な目標設定と助言等、今後取り組むべきこと等を丁寧にお示しいただき、実りある研修会となりました。



#### ○参加者の声（抜粋）

- ・『今、なぜコミュニティ・スクールなのか？』ということが必然的な動きであることがよくわかりました。
- ・始まったばかりのところにも、歴史があるところにもわかりやすい講演の内容でした。手段と目的、それをしっかり念頭に置くことで内容のある有意義な組織づくりができるものと感じました。
- ・大きな未来、希望を見せていただいた気がします。子どもたちが幸せに豊かに生きていける社会にもっともっとなっていくように私にできることをできる範囲でしていきたいと思います。

#### **（２）グループディスカッション（コミュニティ・スクール連絡協議会）（１５：５５～１６：４０）**

貝ノ瀬さん、富家さん、森さん、当県CSアドバイザー等のファシリテートのもと、制度や取組についての疑問、導入・推進にあたっての不安や悩み等、参加者の皆様による意見交換を行いました。

短い時間ではありましたが、所属やお立場ごとのグループに分かれ、熱心な議論が展開されました。参加者の皆様からは、こうした機会や時間をさらに期待する声が多く寄せられました。

